

平成 30 年 5 月 8 日

各 位

東 京 都 千 代 田 区 麴 町 三 丁 目 2 番 4 号
会 社 名 株式会社スリー・ディー・マトリックス
代 表 者 名 代表取締役社長 岡 田 淳
(コード番号：7777)
問 合 せ 先 取 締 役 新 井 友 行
電 話 番 号 03 (3511)3440

再生医療に関する医師主導治験への当社ペプチドの提供のお知らせ

当社は、東京大学医学部附属病院で平成 30 年 5 月 8 日に開始された自己細胞再生気管軟骨を用いた再生医療に関する医師主導治験に、当社ペプチドを提供しましたのでお知らせします。

自己細胞再生気管軟骨は、気管粘膜再生部分と再生軟骨部分からなる新たな再生医療等製品（以下、本治験製品）です。当社ペプチドは本治験製品を構成する副構成体として気管粘膜再生部分に組み合わせて使用されます。当社ペプチドを用いることで、気管軟骨の再生医療において重要とされる気管粘膜の再生促進と、再生した気管軟骨の中心壊死の回避を期待できるのが特徴です。

本治験製品は当社が東京大学医学部附属病院とともに 2010 年から 2014 年にかけて参画していた、新エネルギー・産業技術総合機構（NEDO）「自律成熟型再生デバイスの研究開発プロジェクト」の成果を活用し、発展したものになります。東京大学および当社を含む複数企業とともに開発を進め、本日よりファースト・イン・ヒューマン医師主導治験（以下、本治験）が開始されました。

本治験は東京大学医学部附属病院口腔顎顔面外科・矯正歯科の星和人教授の主導で行われます。標準的に確立した根治医療がないとされる、重症の気管狭窄症^{*1} 患者の治療を対象としております。本治験製品を使用することで患者からの軟骨採取を少量に抑えることも見込まれるため、患者の QOL 向上を含めた新たな治療法となることが期待できます。

本治験は当社ペプチドの日本における初めての再生医療領域での使用であり、今後の当領域での広がりが期待できると考えております。当社は、今後も各医療機関への技術提供を含めた再生医療等の研究開発を進め、当社ペプチドの新しい用途可能性の探索、新規事業化に向け取り組んでまいります。

なお、本件は来期以降の製品開発の促進等に貢献していくものと考えておりますが、現時点においては本件による本年度以降の業績への影響は精査中です。影響が生じる場合には速やかに開示させていただきます。

以 上

【参考（語句説明）】

*1：気管狭窄症

交通事故等に伴う気道外部からの外傷等による炎症や、気管内挿管における内部からの損傷、悪性腫瘍等により、様々な呼吸障害および呼吸困難をきたす症例のことで、気管切開や気管再建を必要とすることもあり、日常生活に大きな支障をきたします。

現状の気管再建においては、患者自身の軟骨を採取して移植することが一般的ですが、気管に移植できる十分な大きさの軟骨を採取するために、患者への負担が非常に大きくなります。そこで、採取した軟骨細胞を培養し、増殖させてから移植する再生医療を実施することで、患者への負担を小さくできることが期待できます。なお、気管軟骨の再生医療を有効に実施するためには、気管粘膜の再生もあわせて促進することが重要になります。